

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第1号 R7年5月
編集 :SSH推進委員会
発行責任者 :馬場 智子

「正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成」

本校は、平成18年から15年間（5年×3期）にわたりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業に取り組んできました。SSHⅣ期は「正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成」を目標に全校生徒を対象として、様々な取組を実施しています。今年度はSSH実践型Ⅳ期第5年次となります。

今年度も、課題発見型、領域融合型、オンラインを活用した授業で探究力の育成に継続して取り組みます。また、Ⅳ期の最終年度として取組を県内はもちろん全国に普及させます。

●令和7年度 SSH事業予定●

学校設定科目

●課題探究Ⅰ（理数科1年生）

様々な分野の実験を中心とした学習により探究スキルを育成します。テーマ発表会や指導教員による指導・助言を受けて、課題研究を開始します。



●探究基礎（普通科1年生）

4月～5月はデータサイエンス講座を行います。9月はディベート小論文を中心に論理的思考力を養い、証拠による論証の仕方を学びます。10月以降はグループに分かれて探究スキル育成講座を行い、探究活動に必要な知識・技能を習得します。



●課題探究Ⅱ（理数科2年生）

大学の先生のアドバイスを受け、少人数グループによる課題研究を行います。そしてその成果を、校内及び校外で口頭発表、ポスター発表を行います。また、大学・企業との効果的な連携方法を模索します。



●課題探究（普通科理系2年生）

通常授業や「探究基礎」で育成された課題発見能力、探究スキルを用いて課題を設定し、課題研究を行います。また、クラス内発表会、校内発表会を行い発表能力を育成します。



●課題探究Ⅲ（理数科3年生）

科目融合、領域融合型の発展的な内容を学習し、少人数グループでの探究活動を通してデータ処理能力、問題解決能力の向上を目指します。現実の課題を解決するプロセスを経験することで、大学での学びにつなげていきます。



●科学探究（普通科理系3年生）

発展的な実験活動を通して、データ処理能力、問題解決能力を身につけます。さらに、科目融合、領域融合型の学習を行い、科目の枠にとらわれず各々の領域の知識を柔軟に関連づけ、探究力の向上を目指します。



校外学習予定

●関東サイエンスツアーリ(理数科1年生)

日 時：6月12日（木）～13日（金）

場 所：東京大学、東京科学大学

内 容：最先端の科学研究に触れ、技術者や研究者と接することで見識を深めます。



●生物・地学分野の野外実習(理数科1年生)

日 時：7月15日（火）～16日（水）

場 所：加賀市方面

内 容：ウニの発生実験、露頭観察、植物生育調査などを行います。



●実験セミナー(韓国大田科学高校との科学交流①)(理数科2年生)

日 時：7月29日（火）～30日（水）

場 所：石川県立小松高等学校

内 容：北陸先端科学技術大学院大学の先生に指導していただき、実験セミナーを行います。

来日した韓国大田科学高校の生徒も、一緒にセミナーを行います。

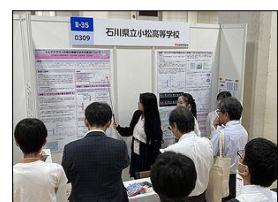


●全国SSH生徒研究発表会(理数科3年生課題研究代表1グループ)

日 時：8月6日（水）～7日（木）

場 所：神戸国際展示場

内 容：全国のSSH校が一同に集まり研究発表会を行います。



●課題探究Ⅰ校外学習(理数科1年生)

日 時：9月25日（木）

場 所：金沢工業大学革新複合材料研究開発センター、石川樹脂工業（株）

内 容：実際にものづくりの現場を体験し、ものづくりに対する理解を深めます。



●韓国科学交流(韓国大田科学高校との科学交流②)(理数科2年生の希望者)

日 時：12月22日（月）～25日（木）

場 所：韓国大田科学高校、韓国科学技術院他

内 容：大田科学高校を訪問し、課題研究のポスター発表（英語）を行うなど、大田科学高校の生徒と交流を深めます。



日頃より、小松高校のSSH事業へご協力いただき、ありがとうございます。2023年度の中間評価において高い評価を受けたことは、多くの方々のご協力と生徒たちの努力の結晶であると感じています。

SSHⅠ期から現在Ⅳ期まで 19 年間の小松高校 SSH の取組による成果をさらに発展・普及させ、科学教育の新たな未来を切り拓くために、小松高校は SSH 先導型への申請に向けて決意を新たにしております。充実した探究活動と国内はもちろん国際科学交流を推進し、次世代の「探究人」を育成する場として、研究を続けてまいります。

今後とも、小松高校 SSH 事業へのご協力をよろしくお願ひいたします。